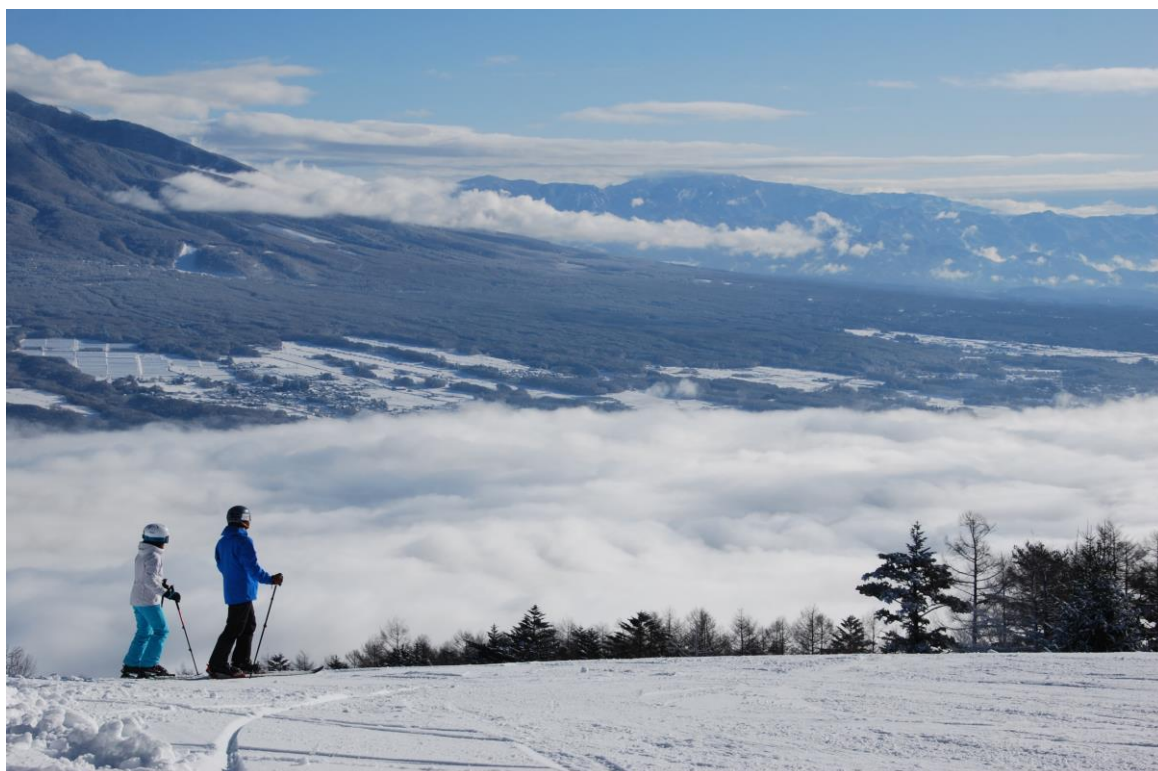




# 安全報告書 (2020)

## 富士見パノラマリゾート

富士見パノラマスキー場第1ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第2ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第3ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第4ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第5ペアリフト  
富士見パノラマスキー場第6ペアリフト  
富士見パノラマスキー場ゴンドラリフト



「2019年12月 3kmコース山頂より」

一般社団法人 富士見パノラマリゾート

## 1. 利用者の皆様へ

日頃より、富士見パノラマリゾートをご利用頂き、また、弊社索道事業に対しご理解を頂き誠に有難うございます。

弊社は、スキー事業理念において【お客様の安全確保】を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2019～2020年シーズンもお陰様で数多くのお客様をお迎えし楽しんで頂きました。

来たるシーズンにつきましては施設整備をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策、衛生管理についても徹底し、ご来場頂いたお客様が安心してご利用頂けるよう、全社一丸となって安全確保に努める所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。皆様からの声を更なる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

一般社団法人 富士見パノラマリゾート  
理事長 **名取 重浩**

## 2. 安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、理事長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 全ての索道施設に携わる者は、輸送の安全確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する運転細則及び整備細則、関連する規定(本規定を含む。)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、不安のある時及び危険を感じた時は最も安全と思われる取扱をいたします。
- 5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 6) 情報は常に漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 7) 常に輸送の安全第一の意識をもって行動します。

## 3. 索道運転事故発生状況

### 1) 索道運転事故

2019年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。

### 2) 災害(地震・暴風・豪雪など)

2019年度は、災害による運行停止はありません。  
尚、強風・雷による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。

### 3) インシデント(事故の前兆)

2019年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

#### 4. 安全確保のための取組

##### 1) 安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

##### 2019年度の主要整備実施項目

第1ペアリフト	握索機オーバーホール(60台)、支柱端子箱更新、通常整備
第2ペアリフト	支柱端子箱更新、通常整備
第3ペアリフト	支柱端子箱更新、通常整備
第4ペアリフト	支柱端子箱更新、通常整備
第5ペアリフト	握索機オーバーホール(84台)、支柱端子箱更新、通常整備
第6ペアリフト	握索機オーバーホール(60台)、支柱端子箱更新、通常整備
ゴンドラリフト	原動設備整備工事、原動滑車非破壊検査、握索力検出装置更新
	支柱索受整備工事、索受ビーム更新(17、25号支柱)
	握索機整備工事(14台)、山頂動力漏電ブレーカ更新工事
	山頂押送速度同調装置モータ更新、山頂押送減速装置モータ更新

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検整備・機械装置点検整備

##### 2020年度の主要整備計画項目

第1ペアリフト	通常整備
第2ペアリフト	握索機オーバーホール(81台)、通常整備
第3ペアリフト	握索機オーバーホール(110台)、通常整備
第4ペアリフト	握索機オーバーホール(126台)、原動フード交換、通常整備
第5ペアリフト	通常整備
第6ペアリフト	通常整備
ゴンドラリフト	握索機整備、支柱点検整備、通常整備
	山麓山頂押送補離索部補強工事、山頂折返滑車ゴムライナー更新
	高圧埋設ケーブル更新工事

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検整備・機械装置点検整備

##### 2) 人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中についても、社員及び経験者の指導による施設の仕様及び、リフト運行取扱についての安全教育及び、各種研修会に積極的に参加しています。

- \* 勤務前研修(冬季) 2019年12月 冬季雇用スタッフ
- \* 平成31年度 索道技術研修会(北陸信越山岳観光索道協会) 4月9、10、11日 2名
- \* 第1回 東急スノーリゾート索道技術管理者会議、ゲレンデ安全管理会議  
索道技術管理員研修会(東急リゾートサービス) 6月17、18、19日 3名
- \* 北陸信越山岳観光索道協会長野地区部会技術研修会(長野県索道事業者協議会) 7月2日 2名
- \* 安全管理者選任時研修(安全衛生マネジメント協会) 7月22日 2名
- \* フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育  
(中部労働技能教習センター) 8月22日 7名
- \* 令和元年度 索道技術管理者研修会(北陸信越運輸局) 10月3、4日 2名
- \* 第2回 東急スノーリゾート索道技術管理者会議、ゲレンデ安全管理会議  
(東急リゾートサービス) 10月28、29日 2名
- \* 長野県索道事業者協議会事故防止研修会(長野県索道事業者協議会) 11月7日 5名
- \* スタッフ研修(東急リゾートサービス) 11月18日 全従業員
- \* 心肺蘇生、AED講習(応急手当普及員) 11月19日 全従業員
- \* 安全対策研修会(諏訪地区スキー場警察連絡協議会) 12月4日 2名
- \* スキー場の安全に係る現地調査(諏訪地区スキー場警察連絡協議会) 1月30日 3名
- \* グループスキー場外部監査 補助監査員として同行(東急リゾートサービス) 1月28、29、30日 1名

【安全訓示】



【勤務前研修】



【研修受講写真】



【研修受講写真】



3) 教育・訓練

毎年スキーズーン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

教育・救助訓練実施状況（4月1日～3月31日）

\*ゴンドラ救助訓練 実救助訓練 4回

\*教育訓練等 11回

\*ゴンドラ救助訓練 予備エンジン救助訓練 15回

\*ペアリフト救助訓練 7回

合同救助訓練 4月24日(53名)、12月3日(52名) (諏訪広域消防本部、茅野警察署)

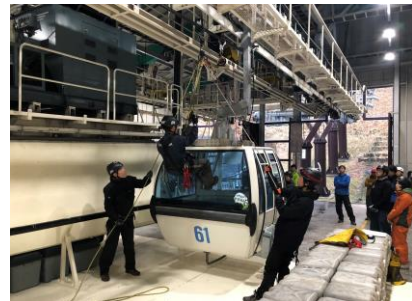
【勤務前救助訓練】



【勤務前救助訓練】



【夏季前 消防警察合同救助訓練】



【冬季前 消防警察合同救助訓練】



4) 改善への新たな取り組み

\* 監視カメラの設置

・利用者の安全確保のためゴンドラリフトの乗り場に監視カメラを設置しています。

\* 気象情報の収集

・外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。

\* 接客マナーの向上

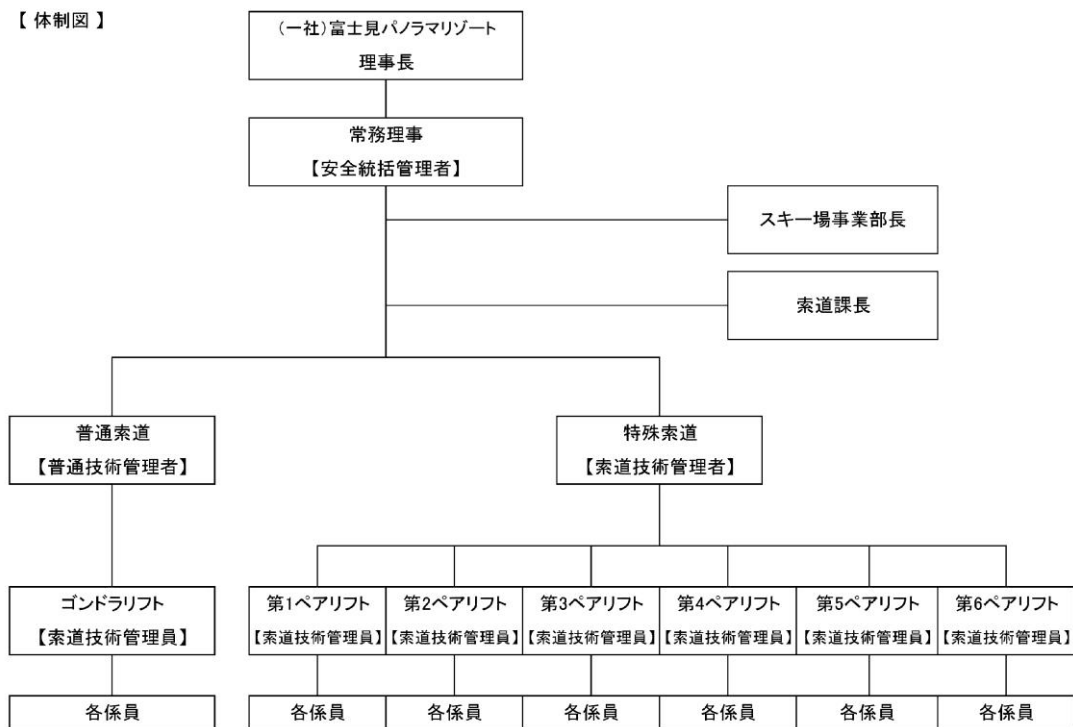
・索道業務マニュアルの細部を見直し業界NO1の接客を目指します。

## 5. 安全管理体制図

平成25年9月に「安全管理規程」を改正し、理事長をトップとする安全管理体制を構築しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

理事長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【体制図】



## 6. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ、努力してまいりました。これを踏まえ、来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用頂けます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、更なる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2019年度の安全報告書とさせていただきます。